



## コール機能の設定

電話機のウェブユーザインターフェイスと xml 設定ファイルを使用して、通話転送、コールパーク、会議、スピードダイヤルなどの通話機能をカスタマイズすることができます。

- [コール転送の有効化 \(1 ページ\)](#)
- [コール転送 \(3 ページ\)](#)
- [会議の有効化 \(6 ページ\)](#)
- [SIP REC を使用したリモート通話録音の有効化 \(7 ページ\)](#)
- [SIP INFO を使用したリモート通話録音の有効化 \(9 ページ\)](#)
- [不在着信表示を設定する \(10 ページ\)](#)
- [応答不可を有効にする \(11 ページ\)](#)
- [電話機とサーバとの間の設定の同期を有効にする \(12 ページ\)](#)
- [DND のスター コードの設定 \(13 ページ\)](#)
- [コールセンター エージェントの電話機のセットアップ \(14 ページ\)](#)
- [プレゼンス表示用電話機のセットアップ \(17 ページ\)](#)
- [回線ごとのコール アピアランス数の設定 \(21 ページ\)](#)
- [名前の逆引きルックアップを有効にする \(22 ページ\)](#)
- [緊急コール \(23 ページ\)](#)
- [PLK 設定 \(29 ページ\)](#)
- [プログラム可能なソフトキーの設定 \(31 ページ\)](#)

## コール転送の有効化

ユーザに対して、有人通話転送サービスとブラインドコール転送サービスを有効にすることができます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[通話転送を有効にするためのパラメータ \(2 ページ\)](#) 表の文字列のシンタックスを参照してください。

## 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

## 手順

- 
- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2** [補足サービス] で、[通話転送を有効にするためのパラメータ \(2 ページ\)](#) 表で定義したとおりにパラメータを設定します。
- ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
- 

## 通話転送を有効にするためのパラメータ

次の表は、電話機のウェブインターフェイスの電話機タブの下にある補助サービスセクションにおける、通話転送パラメータ有効化の機能と使用方法を定義しています。また、パラメータを設定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 1: 通話転送を有効にするためのパラメータ

パラメータ	説明
[在籍転送サービス (Attn Transfer Serv)]	<p>在籍通話転送サービスユーザは、コールに回答してから転送します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre>&lt;Attn_Transfer_Serv ua="na"&gt;Yes&lt;/Attn_Transfer_Serv&gt;</pre> </li> <li>電話機のウェブページで、<b>[はい (Yes)]</b> を選択して転送サービスを有効にします。これを無効にするには、<b>[いいえ (No)]</b> を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]  デフォルト: [はい (Yes)]</p>

パラメータ	説明
[ブラインド転送サービス (Blind Transfer Serv) ]	<p>ブラインド通話転送サービスユーザは、発信者と会話せずにコールを転送します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 562 1458 625">&lt;Blind_Transfer_Serv ua="na"&gt;Yes&lt;/Blind_Transfer_Serv&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、<b>[はい (Yes) ]</b> を選択して転送サービスを有効にします。これを無効にするには、<b>[いいえ (No) ]</b> を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [はい (Yes) ]</p>

## コール転送

コール転送は、電話機の Web ページにある [音声 (Voice) ] タブと [ユーザ (User) ] タブで有効にすることができます。

### [音声 (Voice) ] タブでのコール転送の有効化

ユーザに対してコール転送を有効にする場合は、このタスクを実行します。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[音声タブにおいて通話転送を有効にするパラメータ \(4 ページ\)](#) 表の文字列のシンタックスを参照してください。

#### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

#### 手順

- 
- ステップ 1** [音声 (Voice) ] > [電話 (Phone) ] を選択します。
  - ステップ 2** 補足サービスで、[音声タブにおいて通話転送を有効にするパラメータ \(4 ページ\)](#) の表の説明に従ってパラメータを設定します。

ステップ3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

関連トピック

[DND とコール転送ステータスの同期](#)

[\[機能キーの同期 \(Feature Key Sync\) \]を有効にする](#)

[XSI サービスによる自動転送ステータス同期を有効にする](#)

## 音声タブにおいて通話転送を有効にするパラメータ

次の表は、電話機のウェブインターフェイスの電話機セクションの下にある補助サービスセクションで、音声タブパラメータにおける通話転送の有効化機能と使用方法を定義しています。また、パラメータを設定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 2: 音声タブにおいて通話転送を有効にするパラメータ

パラメータ	説明
[不在転送サービス (Cfwd All Serv) ]	<p>すべての通話を転送する。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre>&lt;Cfwd_All_Serv ua="na"&gt;Yes&lt;/Cfwd_All_Serv&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、<b>[はい (Yes) ]</b> を選択してすべての通話を転送します。これを無効にするには、<b>[いいえ (No) ]</b> を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [はい (Yes) ]</p>

パラメータ	説明
[話中転送サービス (Cfwd Busy Serv) ]	<p>回線が混み合っている場合にのみ通話を転送する。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 562 1393 625">&lt;Cfwd_Busy_Serv ua="na"&gt;Yes&lt;/Cfwd_Busy_Serv&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、回線が混み合っている状態のときに通話を転送する場合は <b>[はい (Yes) ]</b> を選択します。これを無効にするには、<b>[いいえ (No) ]</b> を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [はい (Yes) ]</p>
[無応答時転送サービス (Cfwd No Ans Serv) ]	<p>回線が応答しない場合にのみ通話を転送します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 1224 1417 1287">&lt;Cfwd_No_Ans_Serv ua="na"&gt;Yes&lt;/Cfwd_No_Ans_Serv&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、回線が応答しないときに通話を転送する場合は <b>[はい (Yes) ]</b> を選択します。これを無効にするには、<b>[いいえ (No) ]</b> を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [はい (Yes) ]</p>

## [ユーザ (User) ]タブでのコール転送の有効化

電話機のウェブページからコール転送設定を変更する機能をユーザに提供する場合は、次のタスクを実行します。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。電話機 ウェブインターフェイスへのアクセスを参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。

**ステップ 2** [通話転送 (Call Forward)] の下で、[通話転送設定 (CFWD Setting)] の [はい (Yes)] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<Cfwd_Setting ua="rw">Yes</Cfwd_Setting>
```

オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]

デフォルト: [はい (Yes)]

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## 会議の有効化

1つの通話で複数の相手と話し合うことができます。この機能を有効にすると、ユーザは複数のユーザをダイヤルして通話に追加します。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。電話機 ウェブインターフェイスへのアクセスを参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

**ステップ 2** [補足サービス (Supplementary Services)] で、[会議サービス (Conference Serv)] パラメータに [はい (Yes)] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<Conference_Serv ua="na">Yes</Conference_Serv>
```

オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]

デフォルト : [はい (Yes) ]

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## SIP REC を使用したリモート通話録音の有効化

ユーザがアクティブな通話を録音できるように、電話機の通話録音機能を有効にすることができます。サーバで設定された録音モードによって、各電話機での録音ソフトキーの表示を制御します。

表 3: 録音モードと録音ソフトキー

サーバでの録音モード	電話機で利用可能な録音ソフトキー
常に	ソフトキーは使用できません。 ユーザは電話機から録音を制御できません。通話が接続されると自動的に録音が始まります。
常に (一時停止/再開あり)	[録音一時停止 (PauseRec) ] [録音再開 (ResumeRec) ] 通話が接続されると自動的に録音が始まり、ユーザは録音を制御できます。
オンデマンド	録音 [録音一時停止 (PauseRec) ] [録音再開 (ResumeRec) ] 通話が接続されると自動的に録音が始まりますが、ユーザが [録音 (Record) ] ソフトキーを押すまで録音は保存されません。録音状態が変化すると、ユーザにメッセージが表示されます。
オンデマンド (ユーザによる開始)	録音 [録音一時停止 (PauseRec) ] [録音停止 (StopRec) ] [録音再開 (ResumeRec) ] 録音は [録音 (Record) ] ソフトキーを押した場合にのみ開始されます。録音状態が変化すると、ユーザにメッセージが表示されます。

録音中は、[コール (Calls) ] 画面にさまざまな録音アイコンが表示されます。アイコンは録音状態によって異なります。

表 4: 録音アイコン

アイコン	意味
	録画が進行中です。
	記録一時停止

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

**ステップ 2** [補足サービス (Supplementary Services)] セクションの、[はい (Yes)] または [いいえ (No)] をクリックして **通話録音** パラメータを有効または無効にします。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<Call_Recording_Serv ua="na">Yes</Call_Recording_Serv>
```

オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]

デフォルト: [いいえ (No)]

**ステップ 3** (任意) ソフトキーを有効にするには、[プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[接続済みキーリスト (Connected Key List)] および [会議キーリスト (Conferencing Key List)] フィールドに次の形式で文字列を追加します。

```
crdstart;crdstop;crdpause;crdresume
```

**ステップ 4** ソフトキーを有効にするには、[プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[接続済みキーリスト (Connected Key List)] および [会議キーリスト (Conferencing Key List)] フィールドに次の形式で文字列を追加します。

```
crdstart;crdstop;crdpause;crdresume
```

**ステップ 5** 通話録音が必要な**内線(n)**タブをクリックします。

**ステップ 6** [SIP設定 (SIP Settings)] セクションの [通話録音プロトコル (Call Recording Protocol)] で、通話録音プロトコルとして [SIPREC] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<Call_Recording_Protocol_3_ ua="na">SIPREC</Call_Recording_Protocol_3_>
```

オプション: SIPREC および SIPINFO

デフォルト: SIPREC



ステップ7 [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## SIP INFO を使用したリモート通話録音の有効化

ユーザがアクティブな通話を録音できるように、電話機の通話録音機能を有効にすることができます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

録音中は、[コール (Calls) ] 画面にさまざまな録音アイコンが表示されます。アイコンは録音状態によって異なります。

ユーザは次のソフトキーを押して電話の録音を制御します。

- 録音
- [録音停止 (StopRec) ]

録音は[録音 (Record) ] ソフトキーを押した場合にのみ開始されます。録音状態が変化するとユーザにメッセージが表示され、録音アイコンが通話画面に表示されます。

電話の録音が始まると、[録音停止 (StopRec) ] ソフトキーが機能できるようになります。ユーザが[録音停止 (StopRec) ] ソフトキーを押すと録音が停止します。録音状態が変化すると、ユーザにメッセージが表示されます。

表 5: 録音アイコン

アイコン	意味
	録画が進行中です。

### 始める前に

- コール制御システムで通話録音を設定する必要があります。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

### 手順

ステップ1 [音声 (Voice) ] > [電話 (Phone) ] を選択します。

ステップ2 [補足サービス (Supplementary Services) ] セクションの [通話録音サービス (Call Recording Serv) ] パラメータで、[はい (Yes) ] または [いいえ (No) ] をクリックして通話録音を有効または無効にします。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<Call_Recording_Serv ua="na">Yes</Call_Recording_Serv>
```

オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ]

デフォルト: [いいえ (No) ]

- ステップ 3** (任意) ソフトキーを有効にするには、[プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys) ] セクションで、[接続済みキーリスト (Connected Key List) ] および [会議キーリスト (Conferencing Key List) ] フィールドに次の形式で文字列を追加します。

```
crdstart;crdstop;crdpause;crdresume
```

- ステップ 4** ソフトキーを有効にするには、[プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys) ] セクションで、[接続済みキーリスト (Connected Key List) ] および [会議キーリスト (Conferencing Key List) ] フィールドに次の形式で文字列を追加します。

```
crdstart;crdstop;crdpause;crdresume
```

- ステップ 5** 通話録音が必要な**内線(n)**タブをクリックします。

- ステップ 6** [SIP 設定 (SIP Settings) ] セクションの [通話録音プロトコル (Call Recording Protocol) ] パラメータで、通話録音プロトコルとして [SIPINFO] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<Call_Recording_Protocol_1_ ua="na">SIPINFO</Call_Recording_Protocol_1_>
```

オプション: SIPREC および SIPINFO

デフォルト: SIPREC

- ステップ 7** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## 不在着信表示を設定する

電話機のハンドセットの LED で不在着信アラートを設定できます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

## 手順

**ステップ1** [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。

**ステップ2** 補助サービス セクションの **ハンドセットLEDアラート** パラメーターに対して、**ボイスメール、不在着信** を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<Handset_LED_Alert ua="rw">Voicemail, Missed Call</Handset_LED_Alert>
```

オプション: [ボイスメール (Voicemail)] または [ボイスメール、不在着信 (Voicemail, Missed Call)] です。

デフォルト: [ボイスメール (Voicemail)]

**ステップ3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

# 応答不可を有効にする

ユーザが応答不可機能をオンまたはオフにできるようにします。発信者は、ユーザが応答不可であることを伝えるメッセージを受信します。ユーザは電話機で [無視 (Ignore)] ソフトキーを押すことで、着信コールを別の宛先に転送できます。

電話機でこの機能が有効になっている場合は、DND ソフトキーを使用してこの機能をオンまたはオフにできます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

## 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

## 手順

**ステップ1** [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。

**ステップ2** 補足サービスエリアの **DND設定** パラメーターで、[はい (Yes)] を選択します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<DND_Setting ua="rw">Yes</DND_Setting>
```

オプション: [はい (Yes)] と [いいえ (No)]

デフォルト: [いいえ (No)]

**ステップ3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

回線 (マルチライン電話機) を選択すると、電話画面の上部に応答不可バナーが表示されます。

#### 次のタスク

別の設定を変更して、マルチライン電話機で選択済みまたは未選択の各回線の応答不可 (現在、緑色の点灯) ステータスが適切に表示されることを確認します。[DND とコール転送ステータスの同期](#)を参照してください。

DND にスター コードを設定した場合、ユーザは各電話機の DND 機能を有効または無効にすることができます。[DND のスター コードの設定 \(13 ページ\)](#) を参照してください。

#### 関連トピック

[DND とコール転送ステータスの同期](#)

[\[機能キーの同期 \(Feature Key Sync\) \] を有効にする](#)

[XSI サービスを介して DND ステータス同期を有効にする](#)



## 電話機とサーバとの間の設定の同期を有効にする

電話機とサーバとの間の設定の同期を有効にします。

以下の機能とユーザのタイプについては、この設定を有効にする必要があります。

- 不在転送
- 着信拒否 (DND)

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

回線キーに機能キー同期が設定されており、さらに DND またはコール転送機能も有効になっている場合、それぞれの DND  アイコンまたはコール転送  アイコンは回線キー ラベルの隣に表示されます。回線キーに不在着信、ボイス メッセージ、緊急ボイスメールアラートがあると、アラート通知とともに DND アイコンまたはコール転送アイコンも表示されます。

#### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

#### 手順

**ステップ1** [音声 (Voice) ] > [内線[n] (Ext [n] ) ] を選択します。ここで、[n] は内線番号です。

**ステップ2** 通話機能の設定 セクションで、機能キー同期 パラメータを [はい (Yes) ] に設定します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<!-- Call Feature Settings -->  
<Feature_Key_Sync_1_ ua="na">Yes</Feature_Key_Sync_1_>
```

オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ]

デフォルト: [いいえ (No) ]

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

---

## DND のスターコードの設定

ユーザがダイヤルするスターコードによって、電話機の応答不可 (DND) 機能をオンまたはオフにするように設定できます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

### 手順

---

**ステップ 1** [音声 (Voice) ] > [地域 (Regional) ] を選択します。

**ステップ 2** 特定業種向けサービスアクティベーションコードセクションので、**DNDAct**コードパラメータに \*78 と入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<DND_Act_Code ua="na">*78</DND_Act_Code>
```

**ステップ 3** 特定業種向けサービスアクティベーションコードセクションので、**DNDDeact**コードパラメータに \*79 と入力します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することができます。

```
<DND_Deact_Code ua="na">*79</DND_Deact_Code>
```

**ステップ 4** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

---

## コールセンターエージェントの電話機のセットアップ

電話機で自動着信呼分配（ACD）機能を有効にできます。この電話機は、コールセンターエージェントの電話機として機能し、顧客のコールをトレースする、緊急の場合に任意の顧客のコールをスーパーバイザにエスカレーションする、廃棄コードを使用して連絡先番号を分類する、顧客のコールの詳細を表示するなどのことができます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[コールセンターオペレーターセットアップのパラメータ（14 ページ）](#) 表の文字列のシンタックスを参照してください。

### 始める前に

- BroadSoft サーバで、電話機をコールセンター電話機として設定します。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

### 手順

- 
- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。
  - ステップ 2 ACD設定セクションで、[コールセンターオペレーターセットアップのパラメータ（14 ページ）](#) 表で説明するようにフィールドを設定します。
  - ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
- 

## コールセンターオペレーターセットアップのパラメータ

次の表は、電話機のウェブインターフェイスの内線 (n) タブにある ACD 設定セクションでのコールセンターオペレーターセットアップパラメータの機能と使用法を定義しています。ま

た、パラメータを設定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 6: コールセンターオペレーターセットアップのパラメータ

パラメータ	説明
[Broadsoft ACD]	<p>電話機で自動着信呼分配 (ACD) を有効にします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 716 1477 772">&lt;Broadsoft_ACD_1_ ua="na"&gt;はい (Yes) &lt;/Broadsoft_ACD_1_&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話機のウェブページで、<b>[はい (Yes) ]</b> を選択してこの機能を有効にし、<b>[いいえ (No) ]</b> を選択して無効にします。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ]                      デフォルト: [いいえ (No) ]</p>
[コール情報の有効化 (Call Information Enable) ]	<p>電話機にコールセンター コールの詳細を表示できるようにします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 1304 1518 1360">&lt;Call_Information_Enable_1_ ua="na"&gt;はい (Yes) &lt;/Call_Information_Enable_1_&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話機のウェブページで、<b>[はい (Yes) ]</b> を選択してこの機能を有効にします。これを無効にするには、<b>[いいえ (No) ]</b> を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ]                      デフォルト: [はい (Yes) ]</p>

パラメータ	説明
<p>[ディスプレイコードの有効化 (Disposition Code Enable) ]</p>	<p>ユーザがディスプレイコードを追加できるようにします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="997 562 1479 621">&lt;Disposition_Code_Enable_1_ ua="na"&gt;はい (Yes) &lt;/Disposition_Code_Enable_1_&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、<b>[はい (Yes) ]</b>を選択してこの機能を有効にします。これを無効にするには、<b>[いいえ (No) ]</b>を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [はい (Yes) ]</p>
<p>[トレースの有効化 (Trace Enable) ]</p>	<p>ユーザが最新の着信コールをトレースできるようにします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="997 1186 1425 1245">&lt;Trace_Enable_1_ ua="na"&gt;はい (Yes) &lt;/Trace_Enable_1_&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、<b>[はい (Yes) ]</b>を選択してこの機能を有効にします。これを無効にするには、<b>[いいえ (No) ]</b>を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [はい (Yes) ]</p>



パラメータ	説明
<p>[緊急エスカレーションの有効化 (Emergency Escalation Enable) ]</p>	<p>緊急の場合、ユーザがコールをスーパーバイザにエスカレーションできるようにします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 562 1523 655">&lt;Emergency_Escalation_Enable_1_ ua="na"&gt;はい (Yes)&lt;/Emergency_Escalation_Enable_1_&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、<b>[はい (Yes) ]</b>を選択してこの機能を有効にします。これを無効にするには、<b>[いいえ (No) ]</b>を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [はい (Yes) ]</p>
<p>[キューステータス通知の有効化 (Queue Status Notification Enable) ]</p>	<p>コールセンターのステータスとエージェントのステータスを表示します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 1222 1523 1314">&lt;Queue_Status_Notification_Enable_1_ ua="na"&gt;はい (Yes)&lt;/Queue_Status_Notification_Enable_1_&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、<b>[はい (Yes) ]</b>を選択してこの機能を有効にします。これを無効にするには、<b>[いいえ (No) ]</b>を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [はい (Yes) ]</p>

## プレゼンス表示用電話機のセットアップ

電話機のユーザに対して the BroadSoft XMPP ディレクトリを有効にできます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[プレゼンス設定のパラメータ \(18 ページ\)](#) 表の文字列のシンタックスを参照してください。

#### 始める前に

- XMPP 用の Broadsoft サーバを設定します。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

#### 手順

- 
- ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
  - ステップ 2 **Broadsoft XMPP** セクションで、[プレゼンス設定のパラメータ \(18 ページ\)](#) の説明にしたがってフィールドを設定します。
  - ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。
- 

## プレゼンス設定のパラメータ

次の表では、電話機のウェブインターフェイスの電話タブの下にある theBroadsoft XMPP セクションにおけるプレゼンスパラメータの設定と使用方法を定義します。また、パラメータを設

定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 7: プレゼンス設定のパラメータ

パラメータ	説明
[XMPP対応 (XMPP Enable) ]	<p>電話機のユーザに対して the BroadSoft XMPP ディレクトリを有効にします。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 716 1479 772">&lt; XMPP_Enable ua = "na" &gt; はい (Yes) &lt;/XMPP_Enable &gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話機のウェブページで、<b>[はい (Yes) ]</b> を選択してすべての通話を転送します。これを無効にするには、<b>[いいえ (No) ]</b> を選択します。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [いいえ (No) ]</p>
サーバ(Server)	<p>XMPP サーバの名前; 例えば、xsi.iop1.broadworks.ne</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 1339 1317 1360">&lt;XMPP_Server ua="na"/&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話機のウェブページで、サーバ名を入力します。</li> </ul> <p>デフォルト: 空白</p>

パラメータ	説明
Port (ポート)	<p>ディレクトリのサーバポート。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="992 527 1481 579">&lt; XMPP_Port ua = "na" &gt; 5222 &lt;/XMPP_Port &gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、サーバポートを入力します。</li> </ul> <p>デフォルト：空白</p>
ユーザ ID (User ID)	<p>電話機のユーザの BroadSoft ユーザ ID (例：johndoe@xdp.broadsoft.com)。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="992 1024 1328 1052">&lt; XMPP_User_ID ua = "na"/&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、ユーザ ID を入力します。</li> </ul> <p>デフォルト：空白</p>
パスワード	<p>ユーザ ID に関連付けられている英数字パスワード。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="992 1493 1300 1520">&lt;XMPP_Password ua="na"/&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、サポートされているパスワードを入力します。</li> </ul> <p>デフォルト：空白</p>

パラメータ	説明
[ログイン状態を隠す (Login Invisible) ]	<p>有効な場合、ユーザがサインインしたときに、ユーザのプレゼンス情報が公開されません。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 562 1469 625">&lt;Login_Invisible ua="na"&gt;はい (Yes) &lt;/Login_Invisible&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、[はい (Yes) ]を選択してこの機能を有効にします。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [いいえ (No) ]</p>
[再試行の間隔 (Retry Intvl) ]	<p>クライアントがサーバから切断された後、ログインせずに再接続できる秒単位の間隔。この間隔を過ぎると、クライアントは再認証する必要があります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 1186 1469 1249">&lt;Login_Invisible ua="na"&gt;はい (Yes) &lt;/Login_Invisible&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、[はい (Yes) ]を選択してこの機能を有効にします。</li> </ul> <p>オプション: [はい (Yes) ]と[いいえ (No) ] デフォルト: [いいえ (No) ]</p>

## 回線ごとのコールアピランス数の設定

回線で複数のコールアピランスをサポートしている電話機は、回線に許可されるコール数を指定するように設定することができます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機構成ファイルのパラメータを設定することもできます。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

### 手順

---

**ステップ 1** [音声 (Voice) ] > [電話 (Phone) ] を選択します。

**ステップ 2** その他のラインキー設定セクションの回線あたりのコールアピランスパラメーターで、許可する回線ごとの通話の数を指定します。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Call_Appearances_Per_Line ua="na">2</Call_Appearances_Per_Line>
```

有効値の範囲は 2 ~ 10 です。デフォルト値は 2 です。

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

---

## 名前の逆引きルックアップを有効にする

着信コール、発信コール、電話会議、コール転送で、番号の名前を逆引きルックアップ検索をします。電話機がサービスプロバイダーディレクトリ、通話履歴、または連絡先を使用して名前を検索できない場合、名前の逆引きルックアップが機能します。名前の逆引きルックアップには、有効な LDAP ディレクトリ設定または XML ディレクトリ設定が必要です。

名前の逆引きルックアップでは、電話機の外部ディレクトリを検索します。検索が成功すると、コールセッションと通話履歴に名前が表示されます。同時に複数のコールがある場合、名前の逆引きルックアップでは 1 つ目の電話番号と一致する名前が検索されます。2 つ目のコールが接続または保留されたとき、名前の逆引きルックアップでは 2 つ目のコールに一致する名前が検索されます。

名前の逆引きルックアップは、デフォルトで有効になっています。

名前の逆引きルックアップでは、次の順序でディレクトリが検索されます。

1. 電話連絡先
2. コール履歴
3. LDAP ディレクトリ
4. XML ディレクトリ



(注) 電話機は次の形式を使用して XML ディレクトリを検索します。  
`directory_url?n=incoming_call_number`

例：サードパーティ製サービスを使用するマルチプラットフォーム フォンの場合、電話番号（1234）の検索クエリの形式は次のとおりです。  
`http://your-service.com/dir.xml?n=1234`

#### 始める前に

- 名前の逆引きルックアップを有効化または無効化するには、以下のいずれかのディレクトリを設定します。
  - LDAP 社内ディレクトリ
  - XML ディレクトリ
- 電話管理の Web ページにアクセスします。電話機 [ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

#### 手順

ステップ 1 [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

ステップ 2 補足サービスエリアで、電話機の逆引きルックアップサービスを はい (Yes) に設定して、この機能を有効にします。

次の形式で文字列を入力することによって、設定ファイル (cfg.xml) でこのパラメータを設定することもできます。

```
<Reverse_Phone_Lookup_Serv ua="na">Yes</Reverse_Phone_Lookup_Serv>
```

有効値は、はい/いいえです。デフォルト値は、いいえです

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## 緊急コール

### 緊急通報のサポート バックグラウンド

緊急通報サービス プロバイダーは、会社の各 IP ベースの電話機のロケーションを登録できます。ロケーション情報サーバ (LIS) は、緊急応答ロケーション (ERL) を電話機に転送します。電話機は再起動した後、およびユーザが電話機にサインインしたとき、登録時にそのロ

ケーションを保存します。ロケーション エントリでは、番地、建物番号、階、室、およびオフィスのその他のロケーション情報を指定することができます。

緊急通報すると、電話機はロケーションをコールサーバに転送します。コールサーバは、コールとロケーションを緊急通報サービス プロバイダーに転送します。緊急通報サービス プロバイダーは、コールと一意のコールバック番号 (ELIN) を緊急サービスに転送します。緊急サービスまたは公安応答局 (PSAP) は、電話機のロケーションを受け取ります。PSAP は、コールが切断された場合、コールバックする番号も受け取ります。

電話機からの緊急通報の説明に使用される用語については、[緊急通報のサポート用語 \(25 ページ\)](#) を参照してください。

内線番号の電話機のロケーションを取得するには、次のパラメータを挿入します。

- [会社ID (Company Identifier) ] : NG9-1-1 サービス プロバイダーによって会社に割り当てられた一意の番号 (UUID) 。
- [プライマリリクエストURL (Primary Request URL) ] : 電話機のロケーションを取得するために使用されるプライマリ サーバの HTTPS アドレス。
- [セカンダリリクエストURL (Secondary Request URL) ] : 電話機のロケーションを取得するために使用されるセカンダリ サーバ (バックアップ) の HTTPS アドレス。
- [緊急番号 (Emergency Number) ] : 緊急通報を特定する数字シーケンス。各緊急番号をコンマで区切ることにより、複数の緊急番号を指定することができます。

一般的な緊急サービス番号は次のとおりです。

- 北米 : 911
- 欧州諸国 : 112
- 香港 : 999

電話機は、次の活動が発生すると、新しいロケーション情報をリクエストします。

- 電話機をコール サーバに登録する。
- ユーザが電話機を再起動する (電話機が以前、コール サーバに登録されている場合) 。
- ゲストが電話機にサインインする。
- SIP 登録で使用されるネットワーク インターフェイスを変更する (たとえば、Wi-Fi をイーサネットに変更する場合) 。
- 電話機の IP アドレスを変更する。

すべてのロケーションサーバがロケーション応答を送信しない場合、電話機は、ロケーションリクエストを 2 分ごとに再送信します。



## 緊急通報のサポート用語

Cisco マルチプラットフォーム フォンの緊急通報のサポートに関する用語を次に説明します。

- 緊急ロケーション識別番号 (ELIN) : 1 台以上の内線電話を表すために使用する番号であり、緊急サービスにダイヤルしたユーザを識別します。
- 緊急応答ロケーション (ERL) : 一連の内線電話をグループ化した論理ロケーション。
- HTTP対応ロケーション配信 (HELD) : ロケーション情報サーバ (LIS) から電話機の PIDF-LO ロケーションを取得する暗号化されたプロトコル。
- ロケーション情報サーバ (LIS) : SIP ベースの電話機の HELD リクエストに応答し、HELD XML 応答を使用して電話機のロケーションを提供するサーバ。
- 緊急通報サービス プロバイダー: 電話機のロケーションを使用して電話機の HELD リクエストに応答する会社。緊急通報 (電話機のロケーションを伝送する) をかけると、コールサーバが通報をこの会社に転送します。緊急通報サービス プロバイダーは、ELIN を追加して、通報を緊急サービス (PSAP) に転送します。通話が切断された場合、PSAP は ELIN を使用して、緊急通報をかけるのに使用された電話機に再接続します。
- 緊急応答機関 (PSAP) : 緊急サービス IP ネットワークに参加している緊急サービス (たとえば、消防署、警察、救急車など)。
- 汎用一意識別子 (UUID) : 緊急通報サポートを使用して会社を一意に識別するために使用される 128 ビットの数値。

## 緊急通報を発信するための電話機の設定

### 始める前に

- 緊急通報サービス プロバイダーから電話用の E911 地理位置情報構成 URL と会社識別子を取得します。同じオフィス内で複数の電話機の内線について、同じ地理位置情報 URL と会社識別子を使用できます。
- 電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

### 手順

- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [内線 (n) (Ext(n))] を選択します。ここでは、*n* は電話機のウェブダイアログの内線番号 (1~10) です。
- ステップ 2** ダイヤルプラン セクションで、**緊急番号** パラメータを設定します。
- ステップ 3** **E911 地理位置情報設定** セクションで、**緊急電話用パラメータ** (26 ページ) で説明されているように、**会社 UUID**、**プライマリ要求 URL**、および**セカンダリ要求 URL** パラメータを設定します。

ステップ4 [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## 緊急電話用パラメータ

次の表では、電話機のウェブインターフェイスの内線 (n) タブの下にあるダイヤルプランおよび E911 地理位置情報設定セクションにおける、緊急電話パラメータを作成する機能と使用方法を定義しています。また、パラメータを設定するために、XML (cfg.xml) コードを含む電話構成ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 8: 緊急電話パラメータ

パラメータ	説明
セクション: ダイヤルプラン	
[緊急番号 (Emergency Number) ]	<p>緊急番号のカンマ区切りのリストを入力します。</p> <p>複数の緊急電話番号を指定するには、それぞれの緊急電話番号をコンマで区切ります。</p> <p>このいずれかの番号がダイヤルされると、ユニットの CONF、HOLD、および他の同様のソフトキーやボタンの処理が無効になり、現在のコールが誤って保留にされるのを防ぎます。また、電話機ではフックフラッシュイベント処理も無効になります。</p> <p>緊急通報を終了できるのは相手先だけです。コールが終了されてレシーバがオンフックの状態に戻されると、電話機は通常の状態に復元されます。</p> <p>顧客緊急サービス番号に対応する数字に対して、次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。 <pre>&lt;Emergency_Number_1_ ua="na"/&gt;</pre> </li> <li>電話のウェブページで、<b>緊急番号</b>パラメータを、顧客緊急サービス番号に対応する数字に設定します。</li> </ul> <p>有効値：最大 63 文字を入力できます。 デフォルト：空白 (緊急番号なし)</p>
セクション: E911 地理位置情報設置	

パラメータ	説明
[会社のUUID (Company UUID) ]	<p>緊急通報サービス プロバイダーがお客様に割り当てる汎用一意識別子 (UUID)。</p> <p>例： 07072db6-2dd5-4aa1-b2ff-6d588822dd46</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。  <pre>&lt; Company_UUID_1_ua = "na"/&gt;</pre> </li> <li>• 電話機のウェブページで、通話サービスプロバイダーによって割り当てられた有効な識別子を入力します。</li> </ul> <p>有効値：識別子は 最大128 文字です。 デフォルト：空白</p>

パラメータ	説明
<p>[プライマリリクエストURL (Primary Request URL) ]</p>	<p>暗号化された HTTPS 電話機ロケーション リクエスト。このリクエストでは、電話機の IP アドレス、MACアドレス、ネットワークアクセス識別子 (NAI) 、ネットワークスイッチメーカーが割り当てたシャーシIDおよびポートIDが使用されます。このリクエストには、ロケーションサーバ名とカスタマー ID も含まれます。</p> <p>緊急通報サービスプロバイダーが使用するサーバは、ユーザの電話機の IP アドレスに関連付けられているロケーション Uniform Resource Identifier (URI) を保持している緊急応答ロケーション (ERL) を使用して応答します。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="992 978 1458 1003">&lt; Primary_Request_URL_1_ua = "na"/&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、暗号化された HTTPS 電話機ロケーションリクエストを入力します。</li> </ul> <p>例 :</p> <pre data-bbox="992 1188 1492 1213">https://probluearth.com/elltoate/held/held_request.action</pre> <p>デフォルト : 空白</p>

パラメータ	説明
[セカンダリリクエストURL (Secondary Request URL) ]	<p>ユーザの電話機のロケーションを取得するために、緊急通報サービス プロバイダーのバックアップ サーバに送信される暗号化された HTTPS リクエスト。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>XML (cfg.xml)を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。</li> </ul> <pre data-bbox="1031 638 1520 663">&lt; Secondary_Request_URL_1_ ua = "na"/&gt;</pre> <ul style="list-style-type: none"> <li>電話機のウェブページで、ロケーション情報を返送することができるバックアップサーバの暗号化を入力します。</li> </ul> <p>例：</p> <pre data-bbox="1031 848 1529 873">https://prod.blueath.com/911locate/field/request.action</pre> <p>デフォルト：空白</p>

## PLK 設定

### プログラム可能な回線キー

プログラム可能な回線キー (PLK) 機能を使用すると、回線ボタン上で機能ボタンまたはサービス URL ボタンをプログラミングできます。以下を使用して、回線キーを設定できます。

- 回線ボタン-参照 [ラインキーを有効にする \(29 ページ\)](#)
- スピードダイヤル-参照 [回線キーの短縮ダイヤルの設定](#)
- コールパーク-参照 [ライン キーにコール パークを追加する](#)
- 話中ランプフィールド (BLF) -参照 [他の電話を監視するための電話設定](#)
- XML サービス-参照 [XML サービスをラインキーに追加する \(30 ページ\)](#)

### ラインキーを有効にする

回線キーとして電話画面の両側のボタンを使用する場合にこの機能を有効にします。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機設定ファイルのパラメータを設定することもできます。内線のパラメータは、回線固有です。

```
<Extension_1_ ua="rw">1</Extension_1_>
```

### 始める前に

電話管理のウェブインターフェイスにアクセスします。[電話機ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

**ステップ 2** ラインキーを選択し、**内線**フィールドに内線番号を割り当てて、内線番号を有効にします。

内線が**無効 (Disabled)** に設定されている場合、ユーザは電話内線としてラインキーを使用できません。

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## 他の電話を監視するための電話設定

他の電話機の回線のステータスをモニタするように電話機を設定できます。この機能は、ユーザが同僚への電話を日常的に代わりに処理していて、同僚が通話に応答できるかどうかを知る必要がある場合に役立ちます。電話機は各回線を別々の回線キーでモニタリングします。モニタリング回線キーは、ビジーランプフィールド (BLF) キーとして機能します。BLFは、モニタリング対象回線のステータスを示すために色が変化する LED です。

表 9: BLF キー LED の状態

LED カラー	意味
グリーン	モニタリング対象回線は使用可能です。
赤	モニタリング対象回線はビジー状態です。
赤色に点滅	モニタリング対象回線が鳴っています。
オレンジ	BLF キー設定にエラーがあります。

電話機が BroadSoft サーバに登録されている場合は、単一の設定で、複数のユーザを監視するように電話機を設定できます。

## XML サービスをラインキーに追加する

XML サービスをラインキーに追加して、ユーザが XML アプリケーションまたはディレクトリにアクセスできるようにすることができます。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。 [電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

**ステップ 2** ライン キーを選択します。

**ステップ 3** 内線フィールドを[無効 (Disabled)] に設定します。

このパラメータは、設定ファイル(cfg.xml)のパラメータでも設定できます。パラメータは、回線固有です。文字列を次の形式で入力します。

```
<Extension_2_ ua="na">Disabled</Extension_2_>
```

**ステップ 4** [拡張機能 (Extended Function)] フィールドに、次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=xml;url=http://xml.service.url;nme=name
```

説明：

- **fnc = prk** は関数がコールパークであることを意味します。
- **url = http://xml.service.url** は、xml アプリケーションまたはディレクトリの URL です。
- **nme=XXXX** は、コールパークラインキーについて、電話機に表示される名前です。XXXX を名前で置き換えます。

このパラメータは、設定ファイル(cfg.xml)の回線固有のパラメータでも設定できます。文字列を次の形式で入力します。

```
<Extended_Function_2_ ua="na">fnc=xml;url=http://xml.service.url;nme=name</Extended_Function_2_>
```

**ステップ 5** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## プログラム可能なソフトキーの設定

### ソフトキーのディスプレイのカスタマイズ

特定の状態にある電話画面のソフトキーの表示をカスタマイズできます。

XML (cfg.xml) コードを使用して電話機設定ファイルのパラメータを設定することもできます。各パラメータを設定するには、[プログラム可能なソフトキーのパラメータ \(32 ページ\)](#)の文字列のシンタックスを参照してください。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)を参照してください。

### 手順

- ステップ 1 [音声 (Voice) ] > [電話 (Phone) ] を選択します。
- ステップ 2 プログラム可能なソフトキーセクションで、ソフトキーを表示する通話状態に応じてソフトキーを編集します。詳細については、[プログラム可能なソフトキーのパラメータ \(32 ページ\)](#) および を参照してください。
- ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## プログラム可能なソフトキーのパラメータ

次の表は、電話機のウェブインターフェイスの **音声 > 電話** タブの下にある **プログラム可能なソフトキーセクション** における、プログラム可能なソフトキーパラメータの機能と使用方法を定義しています。また、パラメータを設定するために、XML コードを含む電話設定ファイルに追加される文字列のシンタックスも定義します。

表 10: プログラム可能なソフトキーのパラメータ

パラメータ	説明とデフォルト値
[プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable) ]	<p>プログラム可能なソフトキーを有効または無効にします。このフィールドを [はい (Yes) ] に設定すると、プログラム可能なソフトキーが有効になります。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。  <pre>&lt;Programmable_Softkey_Enable ua="na"&gt;Yes&lt;/Programmable_Softkey_Enable&gt;</pre> </li> <li>• 電話機のウェブインターフェイスで、このフィールドを [はい (Yes) ] または [いいえ (no) ] に設定し、プログラム可能なソフトキーを有効または無効にします</li> </ul> <p>有効値: はい (Yes)   いいえ (No)                      デフォルト: [いいえ (No) ]</p>



パラメータ	説明とデフォルト値
[PSK 1] ~ [PSK 16]	<p>プログラム可能なソフトキーフィールド。これらのフィールドに文字列を入力して、電話画面に表示されるソフトキーを設定します。番号または内線番号の短縮ダイヤル、特定業種向けサービスのアクティベーションコード（*コード）、またはXML スクリプト用にソフトキーを作成できます。</p> <p>次の形式で、PSK を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• スピードダイヤル  <code>fnc=sd;ext=extension_number@\$PROXY;vid=n;nme=display_name</code> </li> <li>• 特定業種向けサービス アクティベーション コード  <code>fnc=sd;ext=star_code@\$PROXY;vid=n;nme=display_name</code> </li> <li>• XML サービス  <code>fnc=xml;url=http://server_IP/services.xml;vid=n;nme=display_name</code> </li> </ul> <p>ソフトキーリストに、アイドルキーリスト、不在着信キーリストなどのプログラム可能なソフトキーを追加すると、プログラム可能なソフトキーが電話画面に表示されます。</p> <p>次のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• XML (cfg.xml) を使用した電話機の設定ファイルでは、次の形式で文字列を入力します。  <code>&lt;PSK_1 ua="na"&gt;fnc=xml;url=http://server_IP/services.xml;vid=n;nme=display_name&lt;/PSK_1 ua="na"&gt;</code> </li> <li>• 電話機のウェブインターフェイスで、有効な形式で PSK を設定します。</li> </ul> <p>デフォルト：空</p>

## プログラム可能なソフトキーのカスタマイズ

電話機には 16 個のプログラム可能なソフトキーが用意されています ([PSK1 (PSK1)] フィールドから [PSK16 (PSK16)] フィールドまで)。短縮ダイヤルスクリプトでこのフィールドを定義できます。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。電話機 ウェブインターフェイスへのアクセスを参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。

- ステップ 2** [プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable)] を [はい (Yes)] に設定します。
- ステップ 3** 電話機の機能を設定するプログラム可能なソフトキーの数値フィールドを選択します。
- ステップ 4** プログラム可能なソフトキーの文字列を入力します。[プログラム可能なソフトキーの短縮ダイヤルの設定 \(34ページ\)](#) で説明されている、さまざまなタイプのプログラム可能なソフトキーを参照してください。
- ステップ 5** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## プログラム可能なソフトキーの短縮ダイヤルの設定

プログラム可能なソフトキーを短縮ダイヤルとして設定できます。短縮ダイヤルには内線番号または電話番号を指定することができます。特定業種向けサービス アクティベーション コード (またはスター [\*] コード) で定義されたアクションを実行する短縮ダイヤルを使用して、プログラム可能なソフトキーを設定することもできます。たとえば、短縮ダイヤルの \*67 を使用してプログラム可能なソフトキーを設定した場合、コールは保留されます。

### 始める前に

電話管理の Web ページにアクセスします。[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#) を参照してください。

### 手順

- ステップ 1** [音声 (Voice)] > [電話 (Phone)] を選択します。
- ステップ 2** [プログラム可能なソフトキー (Programmable Softkeys)] セクションで、[プログラム可能なソフトキー有効 (Programmable Softkey Enable)] を [はい (Yes)] に設定します。
- ステップ 3** PSK の短縮ダイヤルを設定するには、PSK の [番号 (number)] フィールドに次のように入力します。

```
fnc=sd;ext=extensionname/starcode@$PROXY;vid=n;nme=name
```

場所：

- Fnc = キーの機能 (短縮ダイヤル)
- extensionname = ダイヤルされている内線番号または実行するスター コードアクション
- vid = n は短縮ダイヤルがダイヤルアウトする内線番号
- name は設定されている短縮ダイヤルの名前

(注) [名前 (name)] フィールドが IP フォンの画面上のソフトキーに表示されます。電話機 1 台につき最大 10 文字をお勧めします。それ以上の文字を使用している場合、ラベルは電話機の画面上で切り捨てられる可能性があります。

**ステップ4** 次を編集します。

- [アイドルキーリスト (Idle Key List) ] : 次の例に示すようにフィールドを編集します。

```
redial|1;newcall|2;dnd;psk1
```

ユーザが電話機に設定したプログラム可能なソフトキーリスト機能が正しくない場合、電話機の LCD のキー リストは更新されません。例 :

- ユーザが **rdeial;newcall;cfwd** と入力した場合 (redial のスペルが不正) 、キーリストは更新されず、LCD に変更が表示されません。
- ユーザが **redial;newcall;cfwd;delchar** と入力した場合、delchar ソフトキーが [アイドルキーリスト (Idle Key List) ] で許可されていないため、LCD に変更が表示されません。したがって、これはプログラム可能なソフトキーリストの不正な設定です。

- **PSK1** :

```
fnc=sd;ext=5014@$PROXY;nme=sktest1
```

(注) この例では、内線番号 5014 (sktest1) の短縮ダイヤル番号として電話機にソフトキーを設定します。

プログラム可能なソフトキーに XML サービスを設定することもできます。次の形式で文字列を入力します。

```
< PSK1 ua = "na" > fnc = fnc = xml; url = http://xml.service.url;nme=name</PSK1 >
```

**ステップ5** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ] をクリックします。

## DTMF サポートを使用して PSKを設定する

デュアルトーン多重波数 (DTMF) で、プログラム可能なソフトキー (PSK) を設定することができます。この設定によって、電話機はアクティブコール中にデジタルパルス (または SIP INFO を介してアウトオブバンド) をサーバに送信することができます。PSK である機能を有効にすると、ユーザーにはソフトキー名が表示され、それを押すことによって名前付きの機能を実行することができます。DTMF 数字文字列に適用されるアクションは、以下のようにスピードダイヤルに適用されるアクションと同様です。

- 一時停止は、よって表される、
- **X** によって表されるまで待機

例えば、ext=<DTMF\_DIGITS>[[,|X][<DTMF\_DIGITS>]] 有効なDTMF桁は0-9,\*,#,a,b,c,dで、[]括弧内の部分はオプションの場合です。

この機能は、プログラム可能なソフトキーにのみ適用されます。デスクフォンでのプログラム可能なラインキー (PLK) には適用されません。この機能の PLK を設定すると、表示に丸で囲まれた X アイコン (ⓧ) が表示され、キーを押しても何も起こりません。

この機能では、接続されたキーリストと接続されたビデオキーリストのみがサポートされます。

始める前に

[電話機 ウェブインターフェイスへのアクセス](#)。

手順

**ステップ 1** 音声 > 通話 > のプログラム可能なソフトキーを選択します。

**ステップ 2** プログラム可能なソフトキー有効フィールドを [はい (yes)] に設定します。

**ステップ 3** PSK リスト(PSK#1 - PSK#16)から、設定する 1 つの PSK を選択します。

**ステップ 4** **PSK(n)** フィールドで、**n** がプログラム可能なソフトキー番号である場合、文字列を次の形式で入力します。

```
fnc=dtmf;ext=<dtmf_digits_to_be_outpulsed>;nme=<softkey_display_name>;
vid=<extension_n_to_be_associated>
```

電話機に複数の登録済み回線がある場合、ソフトキーを表示させるために、特定の回線/内線番号に関連付けられている **vid** を含める必要があります。それ以外の場合、ソフトキーは表示されません。

**ステップ 5** (オプション) PSK ソフトキーを押すたびにペア内で切り替わるように (アウトパルス表示) 設定するには、次の形式で文字列を入力します。

```
fnc=dtmf;ext=<dtmf_digits_to_be_outpulsed>;nme=<softkey_display_name>;
ext2=<second_set_of_dtmf_digits_to_be_outpulsed>;nme2=<second_softkey_display_name_after_first_press>;
vid=<extension_n_to_be_associated>
```

PSK ソフトキーの切り替えは常に、新しい通話のたびに **ext/nme** から開始されます。

**ステップ 6** 接続されたキーリストフィールドまたは接続されたビデオキーリストフィールドで、電話画面上のソフトキー名を表示したい場所に応じて、設定されている PSK キーワードを入力します。

例えば、次のエントリでは、**保留** ソフトキー名が最初の位置に表示されます。[Psk1] フィールドにリストされているソフトキー名は、2 番目の位置に表示されます。以下同様になります。

```
hold;psk1;endcall;xfer;conf;xferLx;confLx;bxfer;phold;redial;dir;park
```

**ステップ 7** **n** が設定する内線番号である場合、音声 > 内線(**n**)を選択します。

**ステップ 8** オーディオ設定 セクションで、DTMF Tx メソッドをドロップダウンリストから次のいずれかの方法に設定します。

- インバンド(In-Band)
- AvT
- 情報
- 自動
- InBand + INFO

- AVT + INFO

**ステップ 9** すべての変更の送信をクリックします。

次の例を参照して、DTMF サポートオプションを使用して PSK を設定する方法を理解してください。

例: PSK は押されたときに切り替わります。

- 音声 > 通話 > のプログラム可能なソフトキー > プログラム可能なソフトキー有効: はい
- 接続されているキーリスト: `psk1|1 ;endcall|2;conf|3;xfer|4;`
- PSK 1: `fnc=dtmf;ext=#1;nme=PressStart;ext2=*2;nme2=PressStop;vid=1`
- 音声 > 内線 1 > DTMF Tx メソッド: 自動

例: 電話機は、PSK のソフトキーを使用して DTMF 数字のインバンドを送信します。

- 音声 > 通話 > のプログラム可能なソフトキー
- プログラム可能なソフトキー有効: はい。
- 接続されているキーリスト: `psk1|1;endcall|2;conf|3;xfer|4;`
- PSK 1: `fnc=dtmf;ext=#1;nme=PressMe;vid=1`
- 音声 > 内線 1 > DTMF Tx メソッド: 自動

例: PSK ソフトは数字の間で一時停止します。

- 音声 > 通話 > のプログラム可能なソフトキー > プログラム可能なソフトキー有効: はい
- 接続されているキーリスト: `psk1|1;endcall|2;conf|3;xfer|4;`
- PSK 1: `fnc=dtmf;ext=#1,1006;nme=PressMe;vid=1`
- 音声 > Ext 1 > DTMF Tx メソッド: 自動

例: PSK ソフトキーは、ユーザーの数字入力を待機します。

- 音声 > 通話 > のプログラム可能なソフトキー > プログラム可能なソフトキー有効: はい
- 接続されているキーリスト: `psk1|1;endcall|2;conf|3;xfer|4;`
- PSK 1: `fnc=dtmf;ext=#1X1006;nme=PressMe;vid=1`
- 音声 > 内線 1 > DTMF Tx メソッド: 自動

## プログラム可能なソフトキー

キーワード	キーラベル	定義	利用可能な電話ステータス
acd_login	Agt サインイン	ユーザが自動着信呼分配 (ACD) にログインします。	アイドル
acd_logout	Agt サインアウト	ユーザが ACD からログアウトします。	アイドル
応答	応答	着信コールに応答します。	Ringing
astate	Agt ステータス	ACD ステータスを確認します。	アイドル
avail	Avail	ACDサーバにログインしているユーザが自分のステータスを応対可能に設定していることを示します。	アイドル
barge	割り込み	他のユーザが共有コールに割り込めるようにします。	共有アクティブ、共有保留
bargesilent	バーヂ無音	他のユーザがマイクは使用できない状態で共有コールに割り込めるようにします。	共有アクティブ
bxfer	ブラインド転送	ブラインドコール転送 (コールの転送先の相手と話さずにコールを転送する) を実行します。ブラインド転送サービスが有効になっている必要があります。	接続中
call (または dial)	コール	リスト内の選択した項目に発信します。	ダイヤリング入力
call info	Call Info	コール情報を表示します。	進行中
キャンセル	キャンセル	コールをキャンセルします (電話会議の開催時に相手が応答しなかったときなど)。	オフフック
cfwd	転送/Clr 転送	すべてのコールを指定された番号に転送します。	アイドル、オフフック、共有アクティブ、保留、共有保留
crdpause	録音一時停止	録音を一時停止します。	接続済み、会議
crdresume	録音再開	録音を再開します。	接続済み、会議

キーワード	キーラベル	定義	利用可能な電話ステータス
crdstart	録音	録音を開始します。	接続済み、会議
crdstop	録音停止	記録の停止	接続済み、会議
conf	会議	会議通話を開始します。会議サーバが有効になっており、アクティブまたは保留中の2つ以上のコールが存在する必要があります。	接続中
confLx	会議回線	電話機の会議アクティブ回線。会議サーバが有効になっており、アクティブまたは保留中の2つ以上のコールが存在する必要があります。	接続中
delchar	delChar : バックスペースアイコン	テキストの入力中に文字を削除します。	ダイヤリング入力
dir	Dir	電話帳へのアクセスを提供します。	アイドル、不在、オフフック（入力なし）、接続済み、転送開始、会議開始、会議、保留、呼び出し中、共有アクティブ、共有保留
disp_code	廃棄コード	廃棄コードを入力します。	アイドル、接続済み、会議、保留
dnd	DND / Clr Dnd	応答不可を設定して着信時に電話機が鳴らないようにします。	アイドル、オフフック、保留、共有アクティブ、共有保留、会議、会議開始、転送開始
emergency	緊急	緊急番号を入力します。	接続中
em_login (または signin)	Sign in	ユーザがエクステンション モビリティにログインします。	アイドル
em_logout (または signout)	Sign out	エクステンション モビリティからユーザをログアウトさせます。	アイドル
endcall	コールの終了	通話を終了します。	接続済み、転送開始、会議開始、会議、保留

キーワード	キーラベル	定義	利用可能な電話ステータス
favorites	お気に入り	「短縮ダイヤル」へのアクセスを提供します。	アイドル、不在、オフフック（入力なし）、接続済み、転送開始、会議開始、会議、保留、呼び出し中、共有アクティブ、共有保留
gpickup	グループピックアップ	ユーザが呼び出し中の内線番号を検出することにより、そのコールに応答できるようにします。	アイドル、オフフック
保留	保留中 (Hold)	コールを保留にします。	接続済み、転送開始、会議開始、会議
ignore	却下	着信コールを無視します。	Ringing
ignoresilent	無視	着信コールをサイレント状態にします。	Ringing
参加	サンカ	電話会議に接続します。会議のホストがユーザ A で、ユーザ B とユーザ C が参加者である場合、A が [参加 (Join)] を押すと、A は離脱して、ユーザ B とユーザ C が接続されます。	会議
lcr	Call Rtn/lcr	最後の不在着信を返します。	アイドル、不在着信、オフフック（入力なし）
left	左矢印アイコン	カーソルを左に移動します。	ダイヤリング入力
メッセージ	メッセージ	ボイスメールへのアクセスを提供します。	アイドル、不在、オフフック（入力なし）、接続済み、転送開始、会議開始、会議、保留、呼び出し中、共有アクティブ、共有保留
miss	不在 (Miss)	不在着信のリストを表示します。	不在着信
newcall	発信	新しいコールを開始します。	アイドル、保留、共有アクティブ、共有保留
option	オプション	入力オプションのメニューを開きます。	オフフック



キーワード	キーラベル	定義	利用可能な電話ステータス
パーク	パーク	指定された「パーク」番号でコールを保留にします。	接続中
phold	PrivHold	アクティブ共有電話上のコールを保留にします。	接続中
ピック	ピック	別の内線番号で呼出音が鳴っていても、その内線番号を入力してそのコールに応答できます。	アイドル、オフフック
recents	Recents	通話履歴からすべてのコールリストを表示します。	アイドル、オフフック、共有アクティブ、共有保留
redial	リダイヤル	リダイヤルリストを表示します。	アイドル、接続済み、会議開始、転送開始、オフフック（入力なし）、保留
resume	復帰	保留中のコールを再開します。	保留、共有保留
right	右矢印アイコン	カーソルを右に移動します。	ダイヤリング（入力）
設定	設定	「情報と設定」へのアクセスを提供します。	すべて
starcode	スターコード/*コードの入力	選択可能なスターコードのリストを表示します。	オフフック、ダイヤリング（入力）
トレース	Trace	トレースをトリガーします。	アイドル、接続済み、会議、保留
unavail	応対不可	ACDサーバにログインしているユーザが自分のステータスを応対不可に設定していることを示します。	アイドル
unpark	パーク解除	パークされたコールを再開します。	アイドル、オフフック、接続済み、共有アクティブ
xfer	[転送]	コール転送を実行します。在席転送サービスが有効になっており、少なくとも1つの接続済みコールと1つのアイドルコールが存在する必要があります。	接続済み、転送開始、会議開始

キーワード	キー ラベル	定義	利用可能な電話ステータス
xferlx	転送回線	電話機上のアクティブ回線を着信者番号に転送します。在席転送サービスが有効になっており、アクティブまたは保留中の2つ以上のコールが存在する必要があります。	接続中